

◎ジェネリック医薬品の使用をお願いします

ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、新薬（先発医薬品）と同じ有効成分で効能・効果の等しい医療用の医薬品ですが、ジェネリック医薬品は特許の切れた有効成分を使い、開発費がわずかなため、価格は新薬の概ね7割以下、中には5割以下の薬もあるなど、新薬と比べて大幅に安いのが特徴です。

欧米では、すでに6～7割がジェネリック医薬品を使用していますが、日本では2割程度しか使用されていません。日本でなかなか普及が進まない大きな理由として、ジェネリック医薬品に対する品質への不安感がありますが、現在、製造販売されているジェネリック医薬品は、国の厳格な審査を受け、効き目や安全性が新薬と同等であると承認された十分信頼できるものです。

新薬をジェネリック医薬品に変更することで、患者さんにとっては、新薬と同等の薬を使いながら、薬にかかる自己負担額を減らすことができるというメリットがあります。

また、少子高齢化が進むにつれて増大し続ける医療費を節減し、世界に誇るべき国民皆保険制度を持続させることにもつながります。

ジェネリック医薬品は、医師による処方が必要な医薬品です。ジェネリック医薬品を使いたいときは、病院や診療所などの医療機関を受診したときに医師に相談するか、調剤薬局で薬剤師に相談してみましょう。

ジェネリック医薬品を希望される場合は、ジェネリック医薬品希望カードなどにより、医師・薬剤師にご相談ください。なお、国民健康保険加入者でジェネリック医薬品希望カードが必要な人は、国保年金課に備えていますのでご利用ください。



◀ジェネリック
医薬品
希望カード

◎「かかりつけ医」を持ちましょう

日ごろからちょっとした病気にかかったときに、決まって診てもらっているお医者さんはありますか？

「かかりつけ医」とは、日ごろからあなたと家族の診察や健康づくりを気軽に相談でき、親切に説明してくれる身近なお医者さんのことです。普段の健康状態を把握しているので、もしものときに安心で、予防を含め健康管理や生活改善についての相談・アドバイスを受けることができ、他の病院と連携しているため、入院や検査が必要なときなどは専門医療機関を紹介してくれます。そのため、診察への不安感から同じ病

気で何度もお医者さんをかえて受診する重複受診や薬の重複なども防げます。

安心して診てもらえる、「かかりつけ医」を持つように心掛けましょう。

■「かかりつけ医」を選ぶポイント

- 自宅や勤務地から近く、通院に便利。
- 患者さんの話をしっかり聞いてくれて、気軽に相談しやすい。
- 病気や治療の方法、薬のことについてわかりやすく説明してくれる。
- 必要に応じて、適切な専門医や医療機関を紹介してくれる。

国民健康保険からのお願い

●問い合わせ先 国保年金課 (082・1179)